

今後の各WGの進め方について（案）

○社会保障WG、国と地方のシステムWG及び経済社会の活力WG

- ① 集中改革期間の最終年度である平成 30 年度の重要政策要求状況（想定される効果やその根拠等）、
 - ② （先進・優良事例の横展開の KPI、見える化を含め）改革工程の進捗管理と推進方策についてのヒアリング
- を行い、年内の諮問会議における議論につなげるとともに、12 月中に諮問会議において改革工程表の改定（骨太方針 2017 で決定された事項を含め、一体改革を加速する観点から新たに盛り込むべき事項を含む。）を行う。

【主な検討項目】 ※順不同

<社会保障 WG>

- ・ 地域医療構想の実現に向けた取組
- ・ 医療費適正化
- ・ 平成 30 年度診療報酬・介護報酬改定
- ・ 介護保険制度のインセンティブ
- ・ 薬価制度の抜本改革
- ・ 健康増進・予防の推進
- ・ 生活保護・生活困窮者自立支援制度の見直し 等

<国と地方のシステム WG>

- ・ 地方交付税をはじめとした地方の財政に係る制度の改革
- ・ 広域化・共同化や業務改革等の推進
- ・ 国及び地方の行政効率化、IT 化と業務改革
- ・ 国庫支出金のパフォーマンス指標の「見える化」推進
- ・ 公的ストックの適正化とインフラ管理のスマート化
- ・ コンパクト・プラス・ネットワークの推進及び空き家・空き地の有効活用 等

<経済社会の活力 WG>

- ・ 教育におけるエビデンスに基づく PDCA サイクルの徹底
- ・ 学校の業務効率化
- ・ 科学技術イノベーション官民投資拡大イニシアティブの具現化 等

○評価・分析WG

来年の中間評価に向け、年内は、(EBPM の取組みを含め) 個別制度・施策の効果分析を行う。

【主な分析項目】 ※順不同

1. 公的サービスの産業化

- ・窓口業務の民間委託の全国展開
- ・PPP/PFI の推進

2. インセンティブ改革

- ・医療費の地域差縮減
- ・後発医薬品の使用促進
- ・介護費の地域差縮減
- ・健康経営による健康増進、疾病予防、重症化予防
- ・生活保護における就労支援・インセンティブ制度 (EBPM) ※
- ・水道事業の広域連携
- ・社会資本のマネジメントコストの増加抑制

3. 公共サービスのイノベーション

- ・自治体クラウドの全国展開
- ・多様な教育政策に関する実証分析 (EBPM) ※

注：※の項目は、骨太 2015 においては、三つの改革に明示的には位置付けられていないが、今回、関連する項目として分析の対象とするもの。

経済・財政一体改革における各テーマのスケジュール(案)

	'18年の重要政策の効果等	工程表の進捗管理等	先進・優良事例	点検・評価
'17年 10月		<p>10月2日：推進委員会(今後の進め方、先進・優良事例調査の結果)</p> <p>→ 社会保障WG・国と地方のシステムWG・経済社会の活力WG → 随時、諮問会議に議論をフィードバック</p> <p>→</p> <p>WG取りまとめ (改革、KPIの進捗整理を行い、工程表改定案を作成)</p> <p>→</p> <p>推進委員会(改革工程表改定案)</p> <p>→</p> <p>諮問会議(改革工程表改定)</p> <p>[重要政策の効果、KPIの更新、先進・優良事例の横展開の進捗管理・加速を一体改革の効果分析に活用]</p>		<p>評価・分析WG (3つの改革のミクロ分析)</p> <p>→</p>
'18年 ～				<p>・経済・財政状況('13～'18)</p> <p>・今後の経済・財政の姿(マクロ)</p> <p>・一体改革の効果(セミマクロ)等</p>